

令和7年(2025年)2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年2月 数 量 (トン)	2025年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。干ばつにより肥大不足であったが、数量は増加し、平均単価はかなり高く推移しました。	827	134	114%	140%
2		はくさい	数量は平年並み、平均単価は大幅に高く推移しました。	586	193	99%	261%
3		きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。初期生育が悪く、数量はやや減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	163	492	92%	96%
4		ほうれん草	降雨量が少なく、数量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	57	597	97%	131%
5		馬鈴薯	北海道産の品質劣化により入荷が減少し、九州産の遅れもあったことから数量は減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	238	239	80%	177%
6	果 実	その他柑橘	数量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	284	451	69%	114%
7		りんご	数量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	132	468	61%	119%
8		いちご	関東・九州産の上旬は入荷が少なく、数量減、単価高で推移したが、関東産は中旬、九州産は下旬頃から数量も徐々に増え始めた。全体的に数量はかなり減少し、平均単価は前年並みで推移しました。	109	1,712	77%	102%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上